



5月12日、林業体験のため赤沢自然休養林へ伺いました。
今年度は、歩道整備作業の体験です。



歩道に撒いた木製チップが、雨などで歩道外へ流出してしまうのを防ぐため、木材を歩道脇に設置する作業です。
木材を置き、木材が転がらないように杭を地面に打ち込んで止めていきます。



杭が足りない場合、鉋と鋸を使用して、杭を製作しました。
また、打ち込んだ杭と木材にかすがいを打ち、さらに固定します。



木材を固定した後は、木製チップを撒いて補充します。
この木製チップは、木の根を守る役割があるとのこと。
木製チップが撒かれた歩道は、柔らかく、とても歩きやすかったです。



作業終了後には、伊勢神宮の式年遷宮のために檜を伐採した跡地へ。
昭和60年の伐採の儀式、御杣始祭（みそまはじめさい）の様子を映像で見せていただきました。



午後には、赤沢自然休養林内を見学して回りました。
要所では、木曽森林管理署職員の方から詳しい説明があり、新たな知識を学ぶことができました。
写真は木曽五木についてお話くださっているところです。



また、木曽森林管理署職員さんの案内のもと、普段は立ち入ることのできない学術研究路を歩き、木曽檜の大樹が立ち並ぶ奥千本も見学しました。
大自然に心を癒されつつ、戻ってくると、森林鉄道が走っており、見どころ満載の林業体験。



終日5月の清々しい気候で、とても気持ちのいい林業体験となり、訓練生も笑顔です。
ご指導、ご案内いただきました木曽森林管理署の職員の皆様ありがとうございました。